

# 優勝／RUSH!RUSH!

## “WORLD-BEATER”

### ★快進撃★

#### ●BRADLEY-OPEN 優勝●



Bradley オープンは毎年強豪が集まり、レーンコンディションが難しい有名なトーナメントです。その中で Dan MacLelland はレイアウトを変えて WORLD BEATER を2つ使い分け、多くの強豪を抑えトーナメントを制覇しました。

“ツアー中でもここまでのオイル量が使われることはめったにありません”とコメントが出るほどオイルの多いコンディションで、“WORLD BEATER”が真の実力を証明した瞬間でした。

MacLelland は、本当にあきらめることを知らないボール(World Beater)だと言っています。

『本当に強いボールです！でも手前で噛み過ぎない特徴があるし、バックエンドの動きは十分なんですよ。バックエンドの動きでお悩みの方にはもってこいのボールだと思います！』

2011年1月9日 Collins Bowling Centers-Eastland(ケンタッキー州レキシントン市)

#### ●Earl Anthony-Memorial 優勝●

Ryan Ciminelli プロ  
シードツアー初タイトル獲得！



優勝決定戦はレフティ対決となり、24歳の Ciminelli は PBA タイトル13勝のベテラン選手“Patrick Allen”を237-215で下し優勝賞金\$20,000を獲得した。対戦相手は私の長年の目標でありヒーロー的存在、トップクラスのボウラーだったので対戦相手にこれ以上的人はいませんでした。去年からあまり良いボウリングができていませんでしたが、今回の試合は自信を取り戻すきっかけになりました。1試合目 Tommy(Jones) と対戦し勝てましたし、Pete 対戦時はラッキーがありました。大会を全体的にみると非常に良かったと思います。

2011年1月30日 Earl Anthony's Dublin Bowl(カリフォルニア州ダブリン市)